お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター


0570-011874

ナビダイヤル　市内通話料金でご利用いただけます

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

●携帯電話・PHSでのお問い合わせ　Tel（06）6356-2451

●ファクシミリでのお問い合わせ　Fax（06）6356-6143

製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

保証書

食器乾燥器保証書　　持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型名		EY-JD50	修理メモ
●お客様	お名前	☎	
	ご住所　〒		
●お買い上げ日 年　月　日	●販売店名・住所		
保証期間 お買い上げ日より **本体1年**	☎		

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1. ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   - （イ）使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
   - （ロ）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   - （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   - （ニ）一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載）に使用された場合の故障および損傷。
   - （ホ）本書のご提示がない場合。
   - （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
   - （ト）消耗部品の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社

〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号　☎（06）6356-2391

ZOJIRUSHI　　家庭用

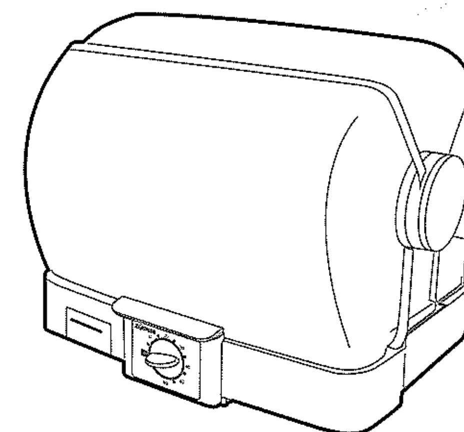
食器乾燥器 クリアドライ

型名 EY-JD50 型　**取扱説明書**

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

保証書つき

もくじ



愛情点検　**長年ご使用の食器乾燥器の点検を!**



こんな症状はありませんか

- ●電源を入れても運転しなかったり、途中で止まったりする。
- ●ご使用中電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる。
- ●食器乾燥中、異常な音や振動がする。
- ●本体が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- ●その他の異常や故障がある。

▶ ご使用中止

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用の前に
※ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告
取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を表します。

⚠注意
取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を表します。

記号について

△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。下図の場合は、「感電注意」を表します。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。下図の場合は「分解禁止」を表します。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。下図の左は、「差込みプラグを抜く」、右は必ず実行していただく「強制」内容です。



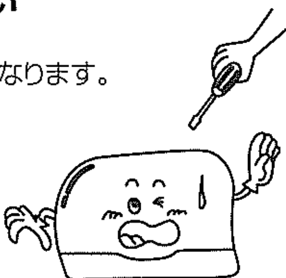
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。
※お買い上げの商品と取扱説明書に記載しているイラストが異なる場合があります。

⚠警告

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

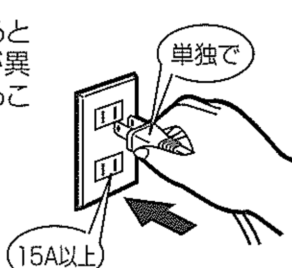

分解禁止



定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

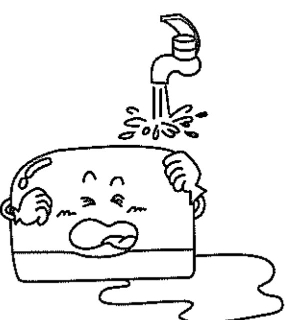

コンセントを単独で使用



水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の恐れがあります。


水ぬれ禁止



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがをする恐れがあります。


禁　止



⚠警告

電源コードを傷つけない

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

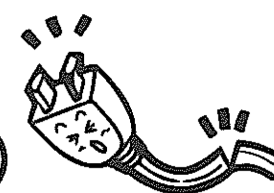

禁　止



電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

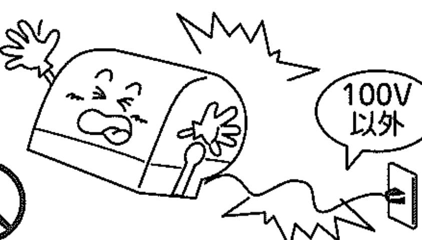

禁　止



交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。


禁　止

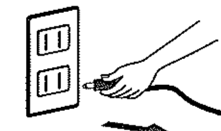


⚠注意

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。

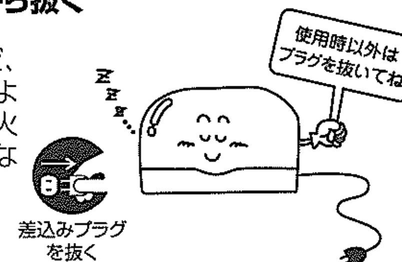

差込みプラグを持って抜く



使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

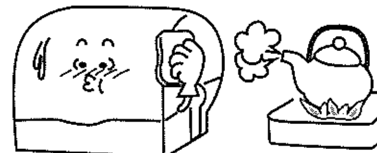
差込みプラグを抜く



ガスコンロなどの炎や熱気のあたる場所に置かない

火災の原因になります。

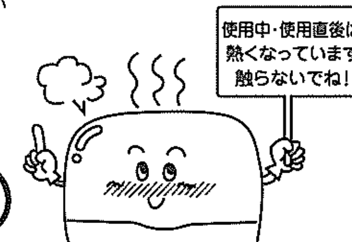

禁　止



使用中、使用直後は内部が熱いので触らない

やけどの恐れがあります。


接触禁止

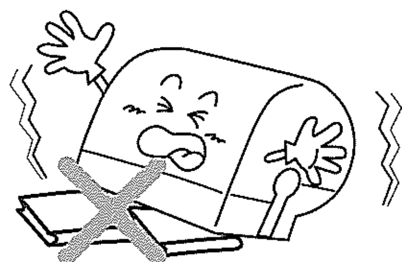


安全上のご注意 つづき

ご注意とお願い

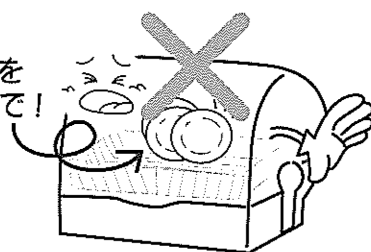
傾いたところでは使用しない

乾燥不良や排水不良の原因になります。



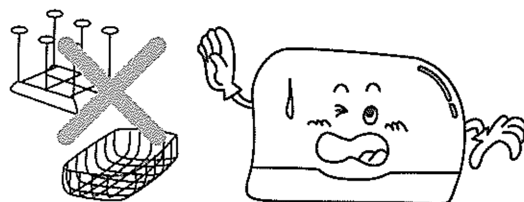
温風吹出口に物や水を入れない また温風吹出口を食器などでふさがない

故障・変形や乾燥効率の低下の原因になります。



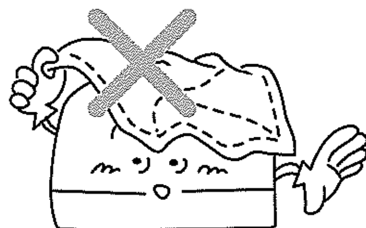
付属の食器かご以外のものは使用しない

故障·変形·変色の原因になります。



ふたや排気口にふきんなどをのせない

故障·変形の原因になります。



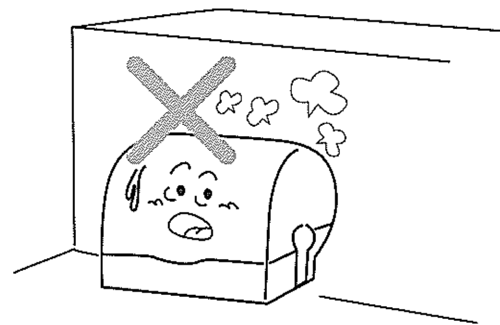
漆器、熱に弱い樹脂製や銀製の食器類、厚さの変化の大きいカットグラスなどは入れない

食器類の変形·変色·破損の原因になります。



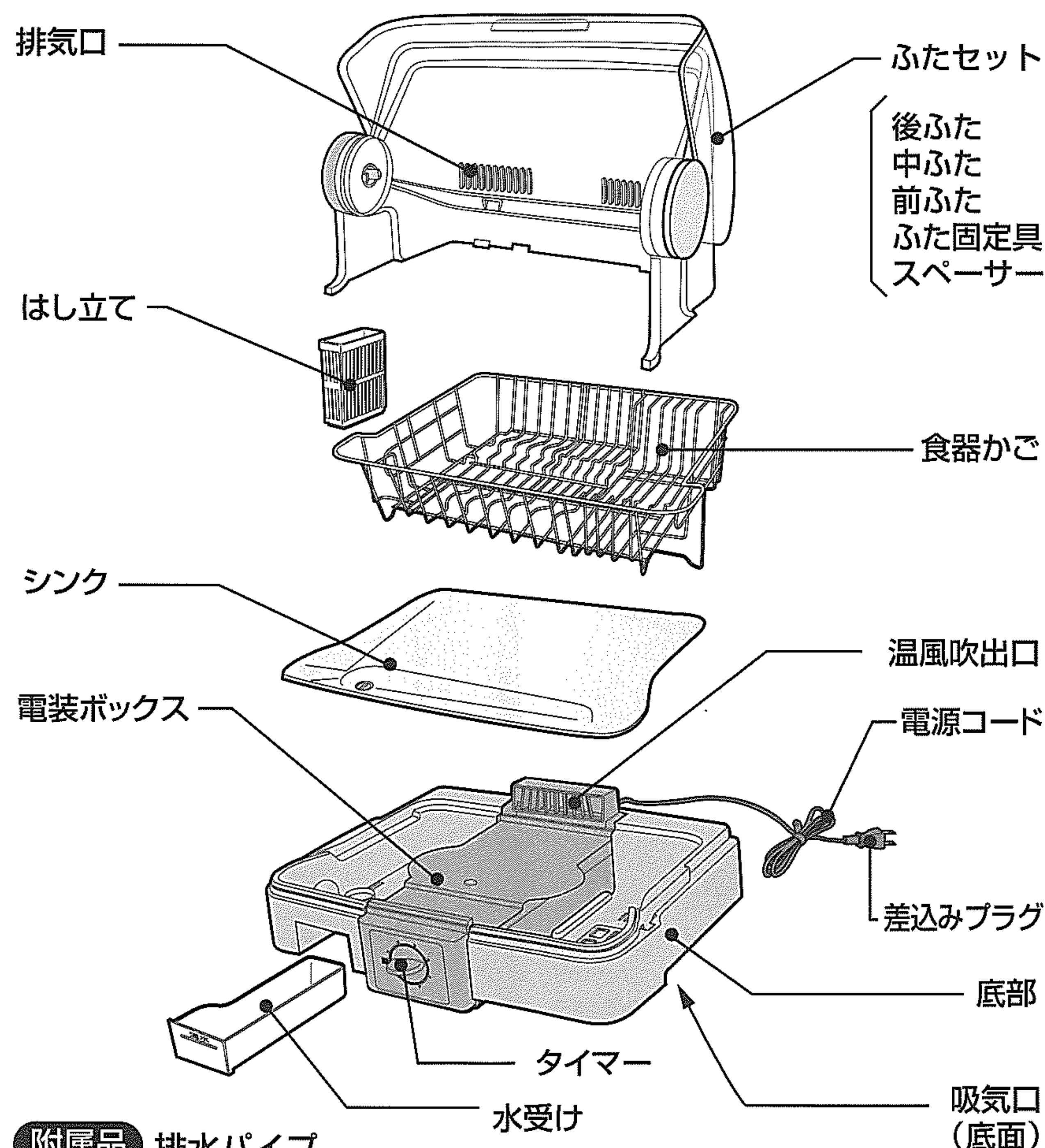
吸気口・排気口はふさがない

故障・変形や乾燥効率の低下の原因になります。



各部のなまえ

※お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載されているイラストは異なることがあります。



附属品 排水パイプ



※排水パイプを使用されない場合は、水受けに水がたまります。
たまった水は、乾燥終了ごとにすててください。（水があふれる恐れ）

お使いになる前に

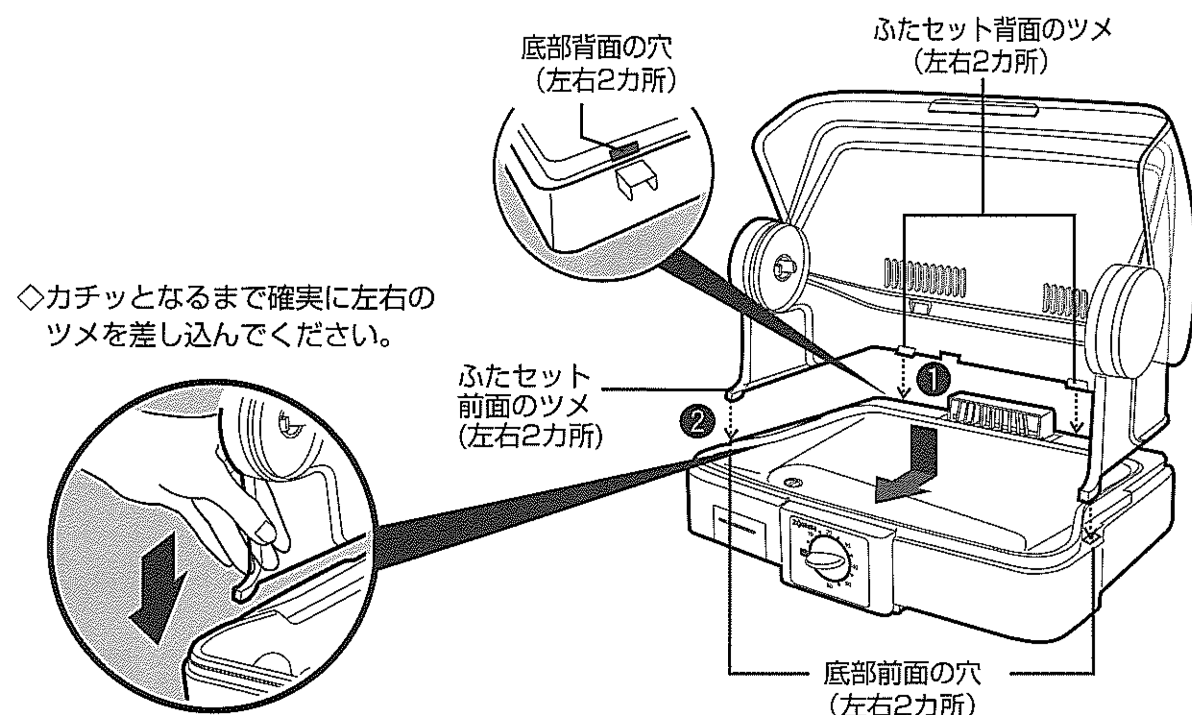
※ご使用の前に梱包材を取り除いてください。

1.ふたセットを底部に取りつける

❶ふたセット背面のツメ(2カ所)を底部背面の穴に差し込む

❷ふたセット前面のツメ(2カ所)を底部前面の穴に上から差し込む

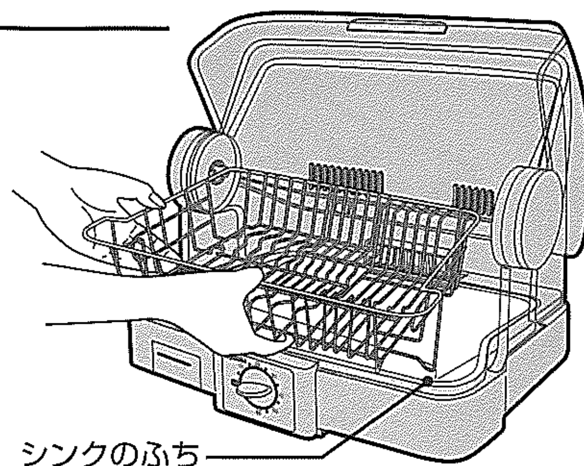
◇カチッとなるまで確実に左右のツメを差し込んでください。



2.食器かごをのせる

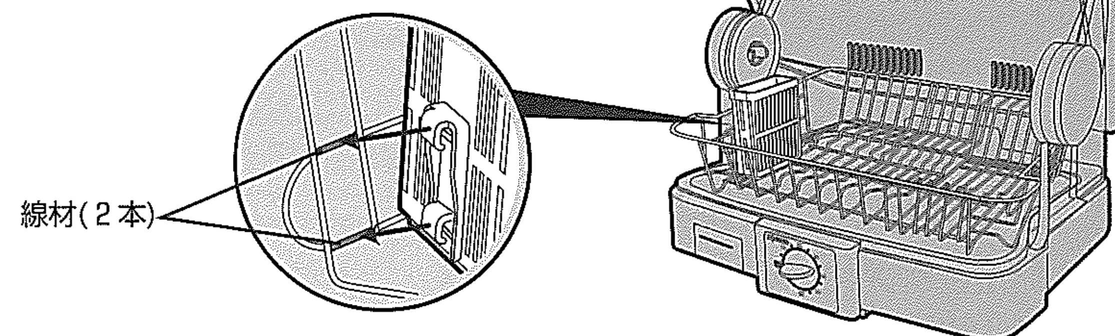
◇シンクのふちに乗り上げないようにきっちりとのせてください。
(ふた開閉時にふたにすり傷がつく原因)

※市販の物は使用しないでください。
(故障、変形の原因)



3.はし立てを取りつける

はし立てのツメ(2ヵ所)を食器かごの線材(2本)に引っかける



※はし立ては、この位置以外には取りつけないでください。

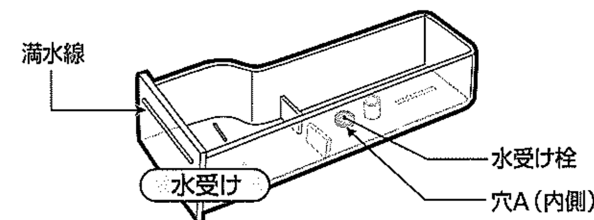
■排水方法について

◆排水パイプを使用しない場合

水受けにたまった水を毎回ご使用後にすてる

※水受け栓が穴A(内側)に確実にセットされていることを確認する

※満水線以上に水をためずにすてる



●排水パイプを使用する場合

排水パイプを取りつけて、排水パイプの先を流し台のシンクにたらす

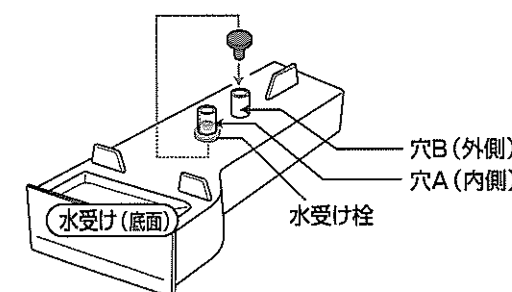
(水受けにたまった水をすてる手間がはぶけます。)

※排水パイプは確実にセットする

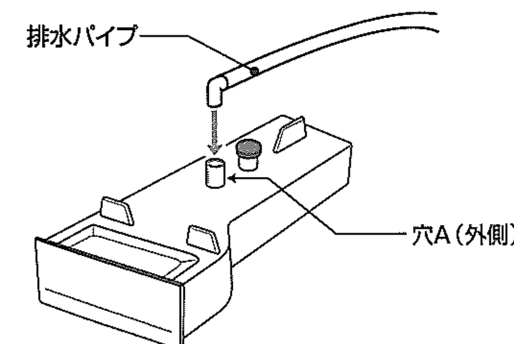
※排水パイプは途中で折れたり、製品のあしでふみつぶされたりしないようにセットする
(排水パイプから水が流れにくくなり、水受けにたまって、水があふれる恐れがあります。)

■排水パイプの取りつけ方

❶水受け栓を穴A(内側)からはずし、穴B(外側)に取りつける



❷穴A(外側)に排水パイプを取りつける



正しい使い方

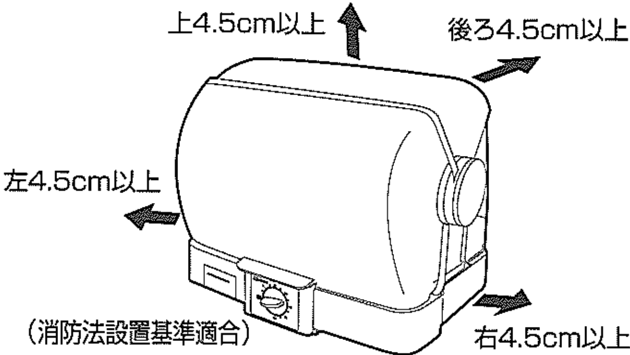
◆初めてお使いになる前に、シンク・ふたを乾いた柔らかい布でふいてください。また、食器かご・はし立ては、水洗いして乾燥させてください。
◆使い始めに少しにおいが出ることがありますが、異常ではありません。

1 設置する

設置場所について

- 壁や燃えやすいもの（可燃物）から、右図の寸法を離して設置すること
- 製品の前面は、開放すること
- 平らな場所に設置すること

※油の付着しやすい場所に設置しないこと

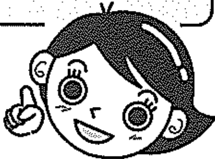


2 食器を入れ、ふたを閉める

①食器の水をよく切り、倒れないように並べる
（P.9～10『食器の入れ方』参照）
②ふたを閉める

◆早く乾燥させるコツ◆

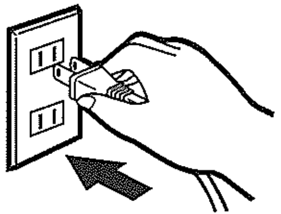
☆食器と食器の間を少しあけて、温風の流れを良くする
☆食器を湯で洗って入れる
☆食器（特に糸じり）はよく水を切ってから入れる



ご注意

包丁は入れない （けがの原因）	**食器はきれいに洗って入れる** （においや乾燥効率の低下の原因）
食器を入れた状態での食器かごの出し入れや、持ち運びはしない （けがや食器かごの変形、破損の原因）	**熱に弱いものや以下の食器は入れない** •ひびの入った食器 •漆塗りの食器 •厚さの変化の大きいガラス食器 　カットグラス・クリスタルなど •銀製の食器類 •熱に弱い樹脂製食器類 　耐熱温度90℃以下のもの 　スチロール製のもの 　耐熱温度表示のないもの （食器類の変形、変色、破損の原因）
食器は入れ過ぎない （変形、破損や乾燥効率の低下の原因）	
食器を入れるときは、食器で温風吹出口をふさがない（変形、故障の原因）	
ふたは確実に閉める （乾燥効率の低下の原因）	

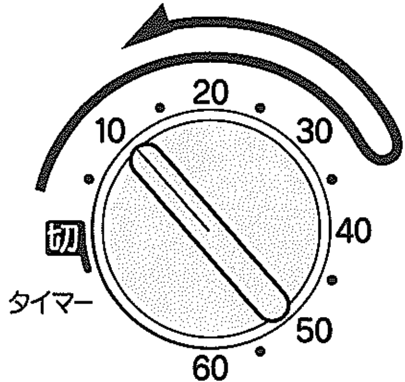
3 差込みプラグをコンセントに接続する



4 タイマーで乾燥時間をセットする

タイマーを右に回し、乾燥時間をセットすると乾燥が始まります。

- タイマーは「60」までセットできます。
「20」以内にセットするときは、一度「30」以上回してから、希望の時間にセットしてください。
- 途中で乾燥を中止するときは、タイマーを「切」に戻してください。次にタイマーをセットする際、ぜんまい音（カチカチカチ……）がしなくなりますが、タイマーは正常に働いていますのでそのままお使いください。



☆標準乾燥時間はP.9～10の入れ方で約45分です。
ただし、室温、湿度、食器の入れ方・形状などによりかわります。

5 乾燥終了後

タイマーが「切」の位置になると乾燥が終了し、電源が切れます。

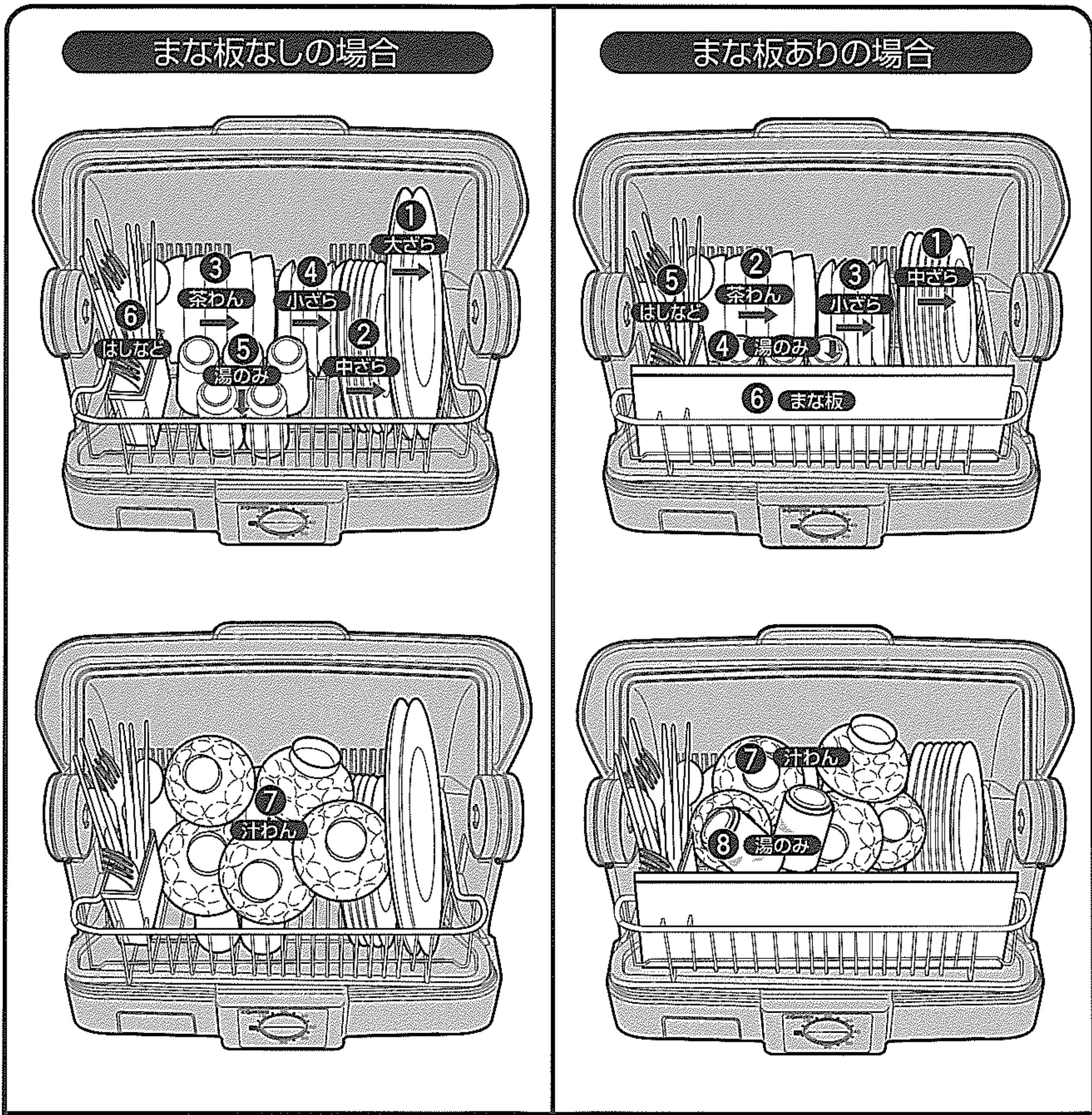
※乾燥中、乾燥直後（約30分）は、食器類や食器かご、温風吹出口、はし立て、シンクなどが熱くなっていますので、やけどに注意してください。

- 乾燥が不足しているときは、追加乾燥してください。
- 乾燥終了後、使用しない場合は、差込みプラグを抜いてください。
- 食器類はまとめて取り出さずひとつずつていねいに取り出してください。
（食器類の破損の恐れ）
- 排水パイプを使用しない場合、水受けにたまった水は、乾燥終了ごとにすててください。
その際、水受けを勢いよく引き出すと、中にたまった水がこぼれることがありますので注意してください。
- 乾燥終了後、乾燥状態によっては、シンクに水が若干残ることがあります。

食器の入れ方

標準食器の入れ方（5人分）

◆下図の番号順に倒れないように並べてください。

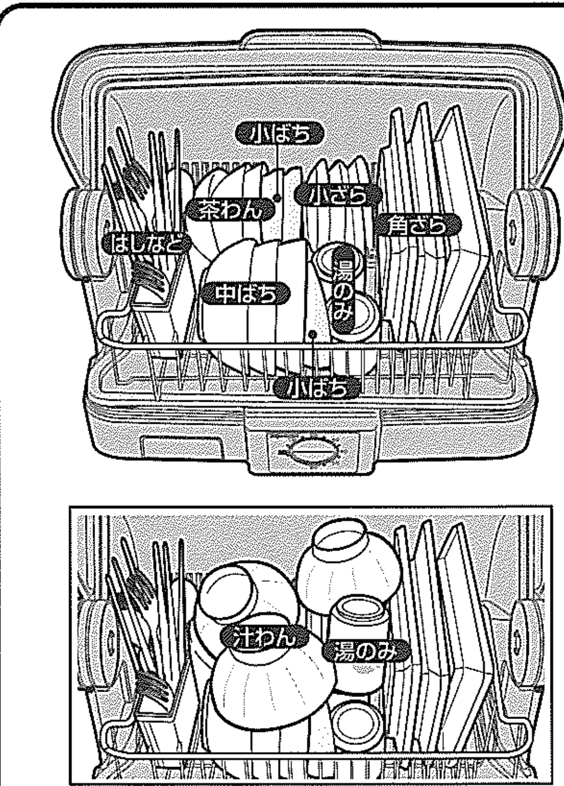


※食器の内面を矢印の方向に向けて並べてください。
※汁わんは茶わんや小ざらなどの上に伏せて入れてください。
※まな板は必ず図の位置に入れてください。（変形・変色の原因）
※食器の形状によっては、立てて置けないものもあります。

標準食器量（5人分） 標準食器（日本電機工業会自主基準による）

食器の種類	まな板なしの場合	まな板ありの場合
大ざら（19～26cm）	2枚	――
中ざら（16～19cm）	5枚	7枚
小ざら（16cm以下）	5枚	5枚
茶わん	5個	5個
汁わん	5個	5個
湯のみ（コップ）	5個	5個
はし・スプーン・フォークなど	5人分	5人分
まな板（最大 幅21×長さ37×厚さ1.5cm）	――	1枚

和食器の入れ方（3人分）



※食器の形状によっては、立てて置けないものもあります。
※汁わんは小ばちなどの上に伏せて入れてください。
※茶わん・小ばちは左から、角ざらは1個おきに入れた方が整理できます。
※まな板は入りません。

和食器量（3人分）	
角ざら	3枚
中ばち	3個
小ばち	3個
小ざら（16cm以下）	3枚
茶わん	3個
汁わん	3個
湯のみ（コップ）	3個
はし・スプーン・フォークなど	3人分

分解/組み立て方法

製品の分解方法

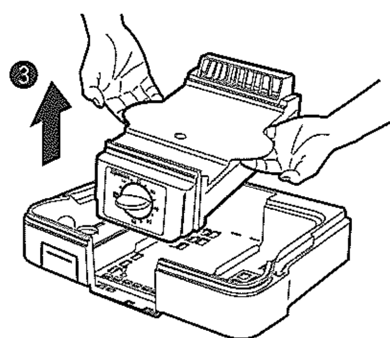
❶食器かご・シンクをはずす

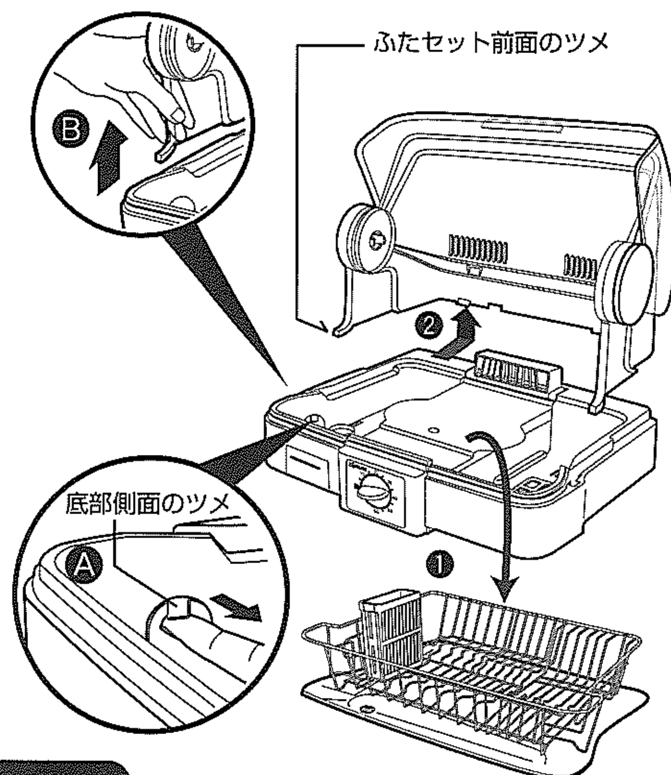
❷ふたセットをはずす

1.底部側面(内側)のツメを手前に引きながら(Ⓐ)、ふたセットを持ち上げ、**ふたセット前面のツメ**をはずす(Ⓑ)（左右２カ所）

2.ふたセットを後ろにスライドし、背面のツメをはずす

❸電装ボックスを持ち上げてはずす





製品の組み立て方法

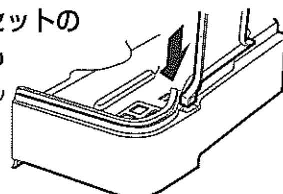
❶底部に電装ボックスを取りつける

❷ふたセットを取りつける（P.5参照）

❸シンクを取りつける

❹食器かごをのせ、はし立てを取りつける（P.5〜6参照）

ふたセットを取りつけるときは、カチッとなるまで**ふたセットのツメを左右とも確実に**差し込んでください。

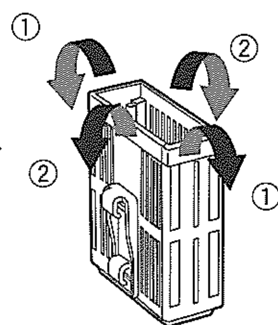


はし立ての分解方法

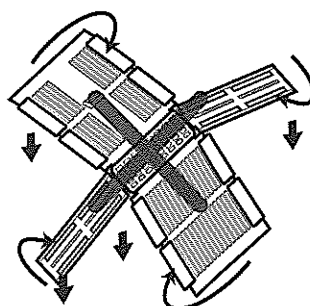
右図の番号順に分解してください。

◇はし立てを分解すると細かい部分までお手入れができます。

■組み立てるときは分解方法の逆の手順で行ってください。

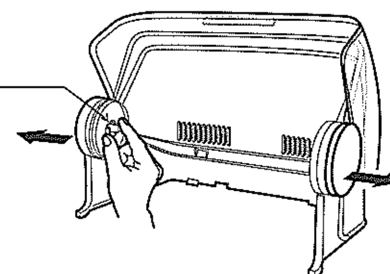


※分解した状態で下方向や横方向に力を加えないでください。（破損の原因）



ふたセットの分解方法

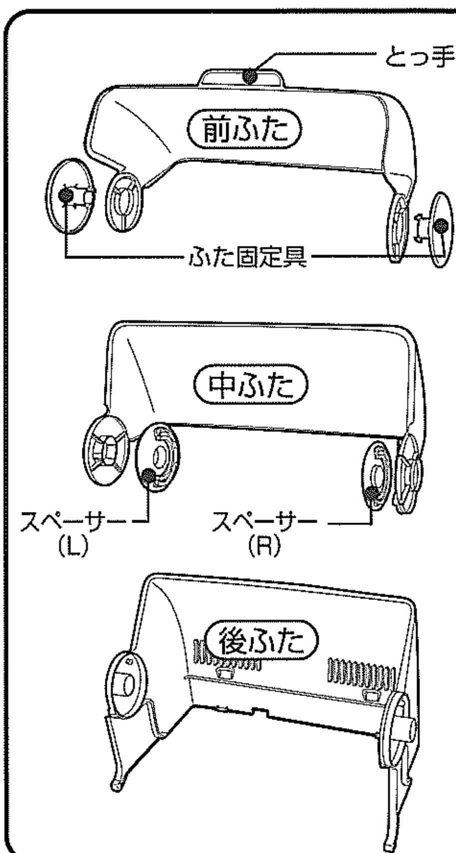
❶ふた固定具(左右2ヵ所)をはずし、前ふたをはずす



❷中ふた(スペーサーとも)を後ふたからはずす

※左右に少し広げながらはずしてください。

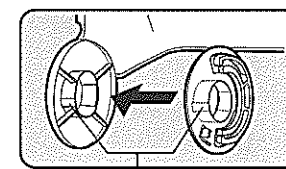
※スペーサーもはずせます。



ふたセットの組み立て方法

❶中ふたにスペーサーをつける

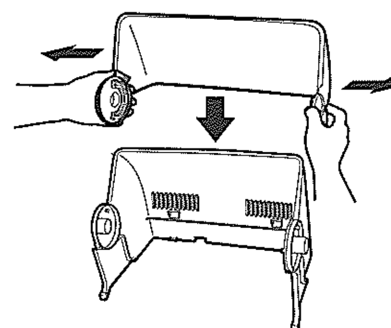
スペーサーをはずしたときは、右図のとおりに位置決め部を合わせて、中ふたの内側に正しく取りつけてください。



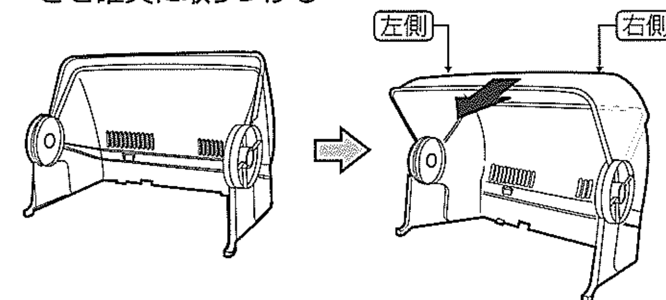
※スペーサーには左右の方向性がありますので、間違わないように取りつけてください。
（スペーサーに「L」と示されている方は左、「R」と示されている方は右に取りつけてください。）

❷後ふたに中ふたをつける

①左右に少し広げながらはめる



②後ふたと重なるようにはめてから、前側にスライドさせ確実に取りつける



※中ふた上部の表示どおりに左右を正しく取りつけてください。

❸前ふたはとっ手を前にして取りつける

❹ふた固定具をはめる　※ツメ(2カ所)が確実にはまっていることを確認してください。

お手入れ

差込みプラグをコンセントより抜き、温風吹出口が冷めてから始めてください。

なまえ	方法
食器かご・水受け はし立て・底部 ふたセット・シンク	スポンジで水洗いする 洗った後、水気をふき取る ※水アカなどにより、汚れやすいのでこまめにお手入れしてください。
電装ボックス	湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固くしぼり汚れをふき取る。洗剤を使った後は水でしぼった布でふく 最後に乾いた柔らかい布で水気をふき取る
電源コード・差込みプラグ	乾いた柔らかい布でふく
排水パイプ	台所用中性洗剤を入れたぬるま湯で洗い、よく乾燥させる ※水アカなどにより、汚れやすいのでこまめにお手入れしてください。

■電装ボックスや温風吹出口に**直接水をかけたり、丸洗いは絶対にしない**でください。
感電や故障の原因になります。

■シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類（ナイロン・金属製など）・台所用以外の洗剤・漂白剤などは使わないでください。また化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。
表面を傷つけたり、化学変化をおこしたりする原因になります。

■保管するときは、ポリ袋をかぶせて箱に入れ、高温・多湿の場所をさけて保管してください。
その際、製品が汚れていないか、よく乾燥しているかを確認してください。

「故障かな？」と思ったときは

症状	原因	処置
乾燥状態が悪い	食器を入れる間隔がつまっている	間を少しあけて入れる
	食器を入れすぎている	食器を減らす
	排気口がふさがっている	ふさいでいるものを取り除く
シンクに水がたまる	平らな場所に設置されていない	平らな場所に設置する
水もれする	水受けの水をすてていない	こまめに水受けの水をすてる
	排水パイプがはずれている	排水パイプを正しく取りつける
	水受け栓の取りつけ位置が間違っている	水受け栓を正しく取りつける
運転しない	電装ボックスが底部に確実にセットされていない	確実にセットする

アフターサービスについて

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い
必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

3. 修理を依頼されるとき
≪保証期間中≫製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理をさせていただきます。
≪保証期間が経過しているとき≫お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
◆販売店にご依頼にならない場合には、お近くの弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

4. 弊社は、食器乾燥器の補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。
◆性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.修理料金の仕組み
◆**修理料金は、技術料、部品代などで構成されています。**
技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

6.上記の内容についての詳細・贈答・転居の場合など、その他、製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または弊社のお客様ご相談窓口までお気軽にご相談ください。

※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりされることは危険です。絶対にしないでください。

仕様

品名	食器乾燥器
型名	EY-JD50
定格	100V 290W 50/60Hz
温度ヒューズ	192℃
電源コード	1.8m
外形寸法(cm)	幅約41.5×奥行約33.5×高さ約36
質量	約3.7kg